

科目名 Subject	心理学 Psychology		教員名	五十嵐 靖博	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1 単位
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30時間
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	○	△
科目の概要	自分や他者を理解し日常生活におけるコミュニケーションやエステティックの職業的実践に適用するには、人間に共通する心のメカニズムと個々の人の個性を作り上げている心的特性を理解する必要がある。本科目では美容にかかわる様々な現象と日常生活の中で経験される思考や感情や行動を、心理学の諸理論をとおして説明する。美容とコミュニケーションと心の関係を心理学的研究にもとづいて考察する。				
授業の目標	心理学の視点から美容やコミュニケーション、ホスピタリティに関する理解を深め、日常生活や職業的実践で有用な知識を習得する。人間に共通する心のメカニズムを理解し、その性質を踏まえたうえで実生活で活用できる。エステティックなど美容にかかわる職業的実践において活用できる。心理学の知見を美齢学に適用できる。				
時間外学習 (予習・復習)	次回の授業内容について確認し、教科書をよく読むこと（40分）。本科目では復習が重要である。授業内容を自分の身近な問題に適用して理解を深めること（40分）。				
教科書・教材	教科書	齊藤勇著『イラストレート心理学入門(第2版)』 誠信書房 2010			
	教材	適宜、資料を配布する			
	使用設備・備品	適宜、ビデオなど映像資料を使用する			
	参考文献	『ヒルガードの心理学（第16版）』 ブレーン出版 2015			
評価方法	次の3点を総合的に評価する。平常点20%、ワーク20%、試験 60%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	日常生活の中で人の心や行動について疑問に思ったことを思いだし、授業を通してそれを説明できるよう努めてください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	心の諸概念、行動の意味、心理学の研究法について学ぶ	心理学とは何かを説明できる	予め心とは何かを考えておくこと。授業後に自他の心観を心理学用語を用いて説明する
第 2 回	五感、視覚の重要性、目とカメラ	知覚の基本的なメカニズムを説明できる	予習として眼の構造図を理解する。復習として視覚が成立する過程を自分で説明する。
第 3 回	錯視などの知覚現象と外見・美容	知覚と美容の関係を説明できる	予習として知覚のメカニズムを確認する。復習として美容における錯視の例を自分で考える
第 4 回	パーソナリティの成り立ち	パーソナリティについて説明できる	予め自分がパーソナリティをどう考えているか、確認する。復習として自分のパーソナリティの成り立ちを考える
第 5 回	自他のパーソナリティをどのようにして測定するか	パーソナリティ検査について説明できる	予習として今までに受けた心理検査について考える。復習としてパーソナリティ検査の仕組みをふり返る。
第 6 回	小集団とそのメカニズム	社会的行動の基礎について説明できる	予習として日常生活の中で人間関係が自分に与える影響を考える。復習として集団力学の用語を用いて事例を説明する
第 7 回	服従と社会的役割	職場集団のメンバーの行動を社会心理学の視点から説明できる	予め社会的役割とは何か自分で考える。復習として自分で事例をあげ説明する
第 8 回	ストレス、ストレッサー、汎適応症候群	ストレスとは何か、説明できる	予習としてストレスの例を考える。復習としてストレスの影響を身近な事例で説明する
第 9 回	不安障害、心身症	ストレスと心の障害の関係を説明できる。	予め不安が何をもちたらずか、自分の経験を振り返る。復習として自分がなりやすい心身の障害について考える
第 10 回	うつ病、統合失調症	うつ病や統合失調症について説明できる。	うつ病と統合失調症に関する自分の考えを、予め振り返る。授業後、身近な人が治療を受ける場合、どうすればいいか考える
第 11 回	エステの心理学	エステが心に及ぼす効果を説明できる。	予めエステと心理学の関係を考える。復習として個々の施術と心への効果の関係を説明する
第 12 回	魅力の心理学	自他の外見が認知や魅力にどう影響するか、説明できる。	予習として魅力とは何か、考える。授業後、魅力的な人の具体例をあげ心理学的に説明する
第 13 回	美の社会的構成	美の基準がどのように作られ、心にどう影響するかを説明できる。	予習として自分が美しいと思うものを明確にする。復習としてなぜそう思うのか、具体的に説明する
第 14 回	心理学を活かす：美齢学へ向けて	心理学と美容の関係を理解し、コミュニケーションに活用できる	予習として美齢学とは何か、調べる。授業後、自分の生活と心理学の関係を具体例をあげて考える
第 15 回	まとめ	定期試験に向けて講義内容を振り返り、理解を深め関係づけることができる	予め講義内容を整理する。授業後、分らない点を自分で確認できる